

(別記)

## 2020 年度天草市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、水田の耕地面積に占める主食用米面積割合が50%で、転作に占める飼料作物（WCS用稲含む）の面積が多く、耕畜連携による自給率の向上が図られている。

農業形態は、水稻を中心に畜産、果樹、野菜、たばこ等を組み合わせた複合経営を中心に行われている。

主食用米の作付面積は減少しているが、今後も需要に応じた米生産を推進するため、配分された作付目安の範囲内で主食用米の生産振興を図る必要がある。

また、一方で、主食用米の作付が減少する中で、水田活用の直接支払交付金を活用しながら他の作物の作付に転換を推進することで、水田の維持と所得の増加を推進していく必要がある。

地域の抱える問題として、特に中山間地域における高齢化の進行や担い手不足、条件不利による耕作放棄地の増加が深刻で、不作付地の解消が課題となっている。

### 2 作物ごとの取組方針等

産地交付金を含めた水田活用の直接支払い交付金等を最大限に活用し、担い手への農地集積・利用集積化を進めながら、水田のフル活用と不作付地の解消に取り組む。

#### (1) 主食用米

安全・安心で食味点数の高い売れる米作りを基本とし、担い手農家や生産組織への農地集積を推進しながら、需要に応じた生産量を確保する。また、高温環境下であっても品質を確保できる耐暑性品種の栽培拡大を図る。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米・米粉用米

飼料用米・米粉用米の生産拡大にあたっては、水田活用の直接支払交付金や畑作物の数量払い交付金を活用しながら、栽培適地にあった多収品種の導入を推進することで単収を向上させ、生産性と所得の向上を図る。

また、飼料用米のわら利用を推進することで相互のコスト削減を図る。

##### イ WCS用稲

自給飼料を安定的に確保し、飼料高騰に左右されない安定した畜産経営を維持していくため、耕種農家と畜産農家のマッチングを図りつつ、団地・利用集積や多収品種の導入により安定した作付を推進し、現状の作付を維持する。

### (3) 飼料作物

自給飼料を安定的に確保し、飼料高騰に左右されない安定した畜産経営を維持していくため、耕種農家と畜産農家の連携による低コストで良質な粗飼料生産（イタリアンライグラスやソルガム等）について、戦略作物と二毛作による水田のフル活用を推進する。

また、粗飼料生産水田への堆肥の散布に取り組むことにより相互のコスト削減を図る。

### (4) そば、なたね

実需者との契約栽培を基本に適地適作への取り組み、産地交付金を活用しながら弾丸暗きよ等の排水対策を取り組み、収量・品質の向上に向けた安定生産を推進する。

また、そば、なたねの組み合わせによる二毛作の取り組みについても、産地交付金を活用して推進する。

### (5) 高収益作物（園芸作物等）

耕作放棄地の発生防止や水田の持つ多面的機能の維持に効果が出ていることから、産地交付金における園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、作付面積の維持・拡大を図り、所得向上を図る。

また、主食用水稲との二毛作による、水田のフル活用を推進する。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定 面積 (ha)	2020年度の作付目標 面積 (ha)	2021年度の作付目標 面積 (ha)
主食用米	1260.7 5,421t	1350 5,805t	1,350 5,805t	1350 5,805t
飼料用米	31.4	32	50	33
米粉用米	0	1	1	1
新市場開拓用米	0	0	0	0
WCS用稲	493.7	495	485	500
加工用米	0	0	0	0
備蓄米	0	0	0	0
麦(基幹)	0	0	0	0
麦(二毛作)	32.4	33	34.5	33.5
大豆(基幹)	2.3	2.5	4.0	3
大豆(二毛作)	0	0	0	0
飼料作物(基幹)	83.5	85	85	85
飼料作物(二毛作)	216.1	220	230	220
そば(基幹)	12.0	13	5.5	13
そば(二毛作)	6.4	6.5	12	6.5
なたね(基幹)	5.5	5.5	5.5	5.5
なたね(二毛作)	8.2	8.2	4.3	8.2
その他地域振興作物 (基幹)	150.2	150	235	150
野菜	131.6	133	170	133
うちオクラ	9.6	10	13	10
うちキュウリ	11.6	12	11.5	12
うちイチゴ	4.3	4	4.5	4
うちトマト	5.7	6	6	6
花き・花木	11.0	10	12	10
その他	7.6	7	25	7
その他地域振興作物 (二毛作)	8.2	9	26	10

※主食用米の当年度及び2021年度の目標値において使用した単収は 430kg/10a

※主食用米の2020年度作付目標値において使用した単収は 430 kg/10a

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019 年度	2020 年度
1	野菜、花き・花木・ 果樹、その他	地域振興作物への助 成（基幹）	作付面積	144.5ha	(135ha) 170ha
2	麦・そば・なたね・ 飼料作物・主食用 水稲後の野菜（レ タス・高菜、広島 菜・かぼちゃ・ブ ロッコリー・スイ ートコーン）	二毛作助成 （二毛作）	作付面積	284.2ha	310ha
			農地利用率	112.7%	113.7%
3	WCS用稲（基幹） 飼料用米（基幹） 飼料作物 （基幹・二毛作）	耕畜連携助成（堆肥 散布・わら利用） （基幹・二毛作）	取組面積	236.7ha	270ha
			農地利用率	36.4%	41.6%

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。